

第50回日本胆道学会学術集会

2014年9月26、27日 東京

日本胆道学会
創立50周年記念シンポジウム

「日本胆道学会の思い出」

日本胆道学会名誉理事長
愛知県がんセンター名誉総長

二 村 雄 次

胆道学会の流れ

回数	開催時期	総会名称	開催地	当番世話人・学会長
1回	1965. 11	胆のう造影研究会	千葉	窪田博吉
3回	67. 8	胆嚢造影研究会	京都	三好秋馬
4回	68. 8	胆道造影研究会	仙台	佐藤寿雄・三浦清美
5回	69. 8	胆道疾患研究会	福岡	永光慎吾
18回	1982. 8	日本胆道疾患研究会	東京	菅田文夫
23回	1987. 8	日本胆道学会 *学会誌「胆道」創刊	弘前	小野慶一
29回	1993. 9	日本胆道学会	神戸	高田忠敬(DDWと共催)
32回	1996. 4		神戸	大井 至
有山 襄 理事長就任				
37回	2001. 10	日本胆道学会	東京	二川俊二(単独開催)
38回	2002. 9	日本胆道学会	名古屋	堀口 祐爾
理事長改選 有山 襄 → 二村雄次				
44回	2008. 9	日本胆道学会	名古屋	乾 和郎
理事長選 二村雄次 → 近藤 哲				
46回	2010. 9	日本胆道学会	広島	田妻 進
理事長改選 近藤 哲 → 乾 和郎				
47回	2011. 9	日本胆道学会	宮崎	千々岩一男

胆道疾患研究会の流れ

	開催日	世話人	所属	開催地
第 1回	1965年	窪田 博吉	千葉大学医学部外科	千葉
第 2回	1966年	高山 鉄哉	丹羽病院消化器科	東京
第 3回	1967年8月17日	三好 秋馬	静岡県立総合病院内科	京都
第 4回	1968年8月5日	佐藤 寿雄 三浦 清美	東北大学第1外科 東北厚生年金病院内科	仙台
第 5回	1969年8月23日	永光 慎吾	九州大学医学部第1外科	福岡
第 6回	1970年8月22日	亀田 治男 窪田 博吉 草地 伸勲	東京大学医学部内科 千葉大学医学部外科 日本医科大学放射線科	東京
第 7回	1971年7月24日	清永 悟市	大阪成人病センター内科	大阪
第 8回	1972年8月19～20日	中沢 三郎	名古屋大学医学部第2内科	名古屋
第 9回	1973年8月24～25日	杉浦 光雄	東京大学医学部第2外科	東京
第10回	1974年8月24日	並木 正義	北海道大学医学部第3内科	東京

胆嚢造影研究会(1965)

胆嚢造影研究会
胆道造影研究会

胆道疾患研究会

胆道疾患研究会の流れ

	開催日	世話人	所属	開催地
第1回	1965年	窪田 博吉	千葉大学医学部外科	千葉
第2回	1966年	高山 鉄哉	丹羽病院消化器科	東京
第3回	1967年8月17日	三好 秋馬	静岡県立総合病院内科	京都
第4回	1968年8月5日	佐藤 寿雄 三浦 清美	東北大学第1外科 東北厚生年金病院内科	仙台
第5回	1969年8月23日	永光 慎吾	九州大学医学部第1外科	福岡
第6回	1970年8月22日	亀田 治男 窪田 博吉 草地 伸勲	東京大学医学部内科 千葉大学医学部外科 日本医科大学放射線科	東京
第7回	1971年7月24日	清永 悟市	大阪成人病センター内科	大阪
第8回	1972年8月19～20日	中沢 三郎	名古屋大学医学部第2内科	名古屋
第9回	1973年8月24～25日	杉浦 光雄	東京大学医学部第2外科	東京
第10回	1974年8月24日	並木 正義	北海道大学医学部第3内科	東京

胆嚢造影研究会(1965)

胆嚢造影研究会
胆道造影研究会

胆道疾患研究会

第9回胆道疾患研究会

プログラム

世話人：東京大学医学部第二外科 杉浦光雄

日時：昭和48年8月24日（金）17：00～21：00

昭和48年8月25日（土）9：00～18：10

会場：農協ビル 国際会議場

東京都千代田区大手町1の8の3

TEL 03 (279) 0311

ご案内

1) 研究会スケジュール

開会 8月24日 16：55

テーマⅠ. 経皮経肝胆管造影法 8月24日 17：00～21：00

パネルディスカッションと一般演題

テーマⅡ. 十二指腸乳頭形成術 8月25日 9：00～12：00

一般演題

テーマⅢ. 胆嚢炎をめぐる 8月25日 13：00～16：00

パネルディスカッションと一般演題

テーマⅣ. 症例検討 8月25日 16：10～18：10

閉会 8月25日 18：10

第9回胆道疾患研究会

経皮経肝胆管造影法に於る造影上の工夫
— 病変部圧迫法 —

昭和48年8月 東京

テーマⅠ：経皮経肝胆管造影法（8月24日 17:00～21:00）

— パネルディスカッションと本テーマの一般演題 —

司会 千葉大学 第一外科 窪田 博吉

<パネルディスカッション>

信州大学 小田内科 清 沢 研 道
東京女子医大 消化器病センター 高 田 忠 敬
岡山大学 田中外科 成 末 允 勇
愛媛県立中央病院 放射線科 兵 頭 春 夫
順天堂大学 消化器内科 黒 沢 彬
三重大学 第一外科 細 野 英 之

<一 般 演 題>

17:00～

1. 経皮経肝胆道造影の適応の反省

千葉大 第一外科 田中 壽一, 窪田 博吉, 和賀井和栄, 小幡 五郎
大原 啓介, 笠井 妥陵, 木村 靖宏, 久野 宗寛
橋場 尚永, 渡部十九六, 内田 朝彦

2. 経皮経肝胆管造影法の経験 —特に適応の反省—

東京医大 内科 ○杉本 栄一, 岩村健一郎
同 放射線科 梅田 和夫

3. 経皮的胆道造影実施例と非実施例の比較検討

東京警察病院 外科 高橋 寿久, 原口 義座, 久保 琢自, 斉藤 慶一
若林 利重

4. 経皮経肝胆道造影法と他造影法との比較

名古屋大学 第二内科 中沢 三郎, 服部外志之, 内藤 靖夫, 三木 洋
名古屋掖済会病院 胃腸科 熊沢 敦

5. 経皮的経肝性胆道造影 250 例の経験

久留米大学 第二外科 中山 和道, 小林 重矩, 池田 明生, 橋本 純一
古林 孟, 斉藤敏比呂

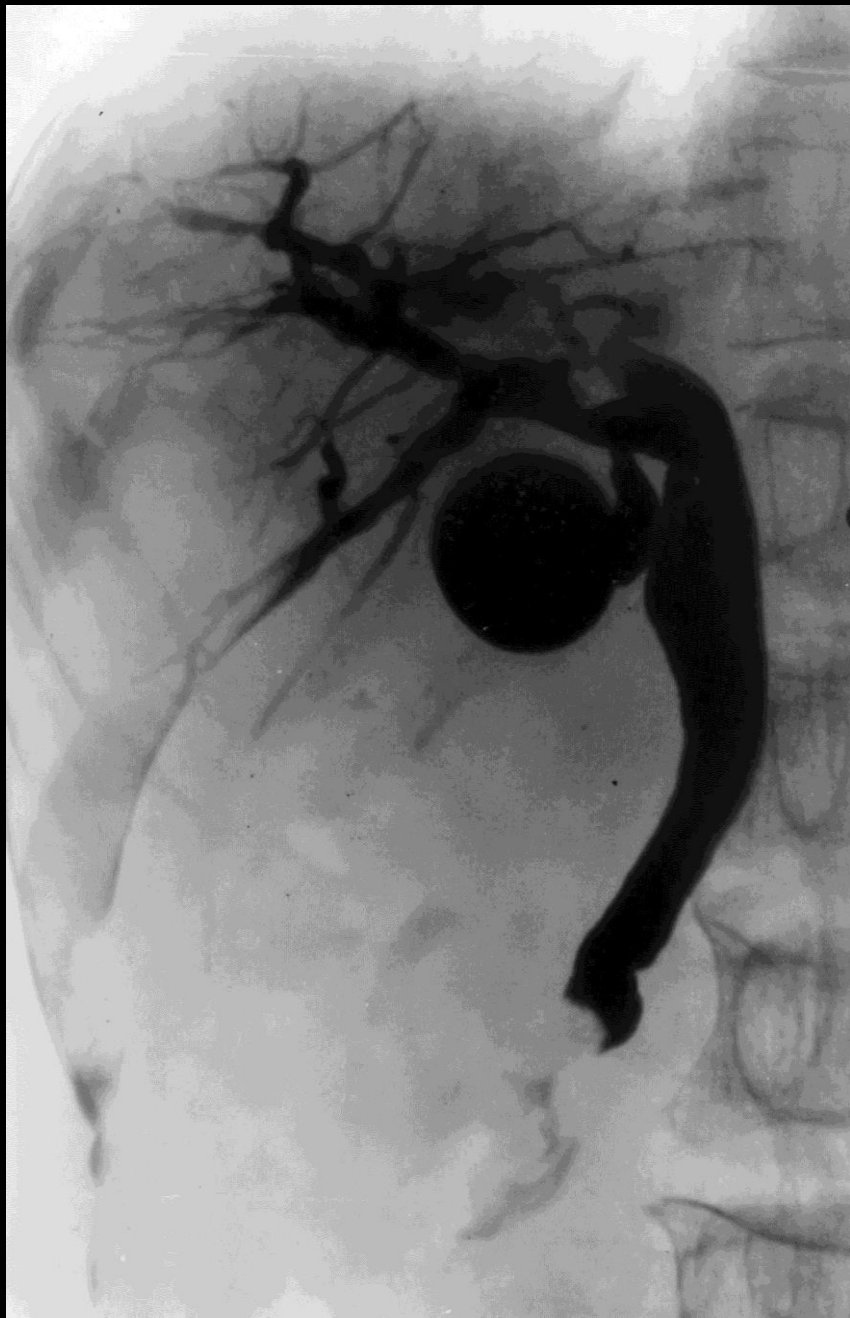
6. 経皮経肝胆管造影法に於ける造影上の工夫 —病変部圧迫造影法—

癌研究会附属病院 外科 二村 雄次, 松原 長樹, 高木 国夫
愛知県八千代病院 外科 家田 浩男, 神谷 武, 佐藤太一郎, 七野 滋彦

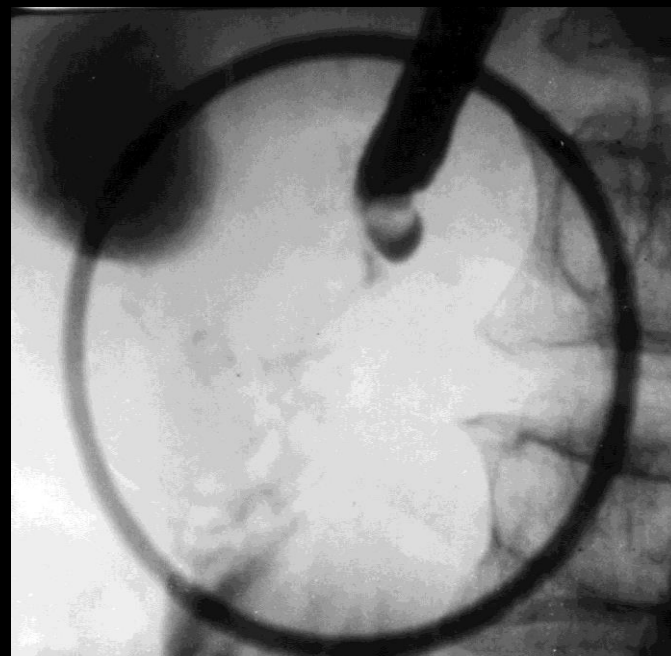
7. 経皮的胆管造影法の撮影条件 —特に胆管内小結石透亮像について—

県西部浜松医療センター 外科 内村 正幸, 武藤 良弘
同 放射線科 沢田 敏
同 放射線技師 鈴木 寿一, 和田 健, 神能 俊一

仰臥位正面像



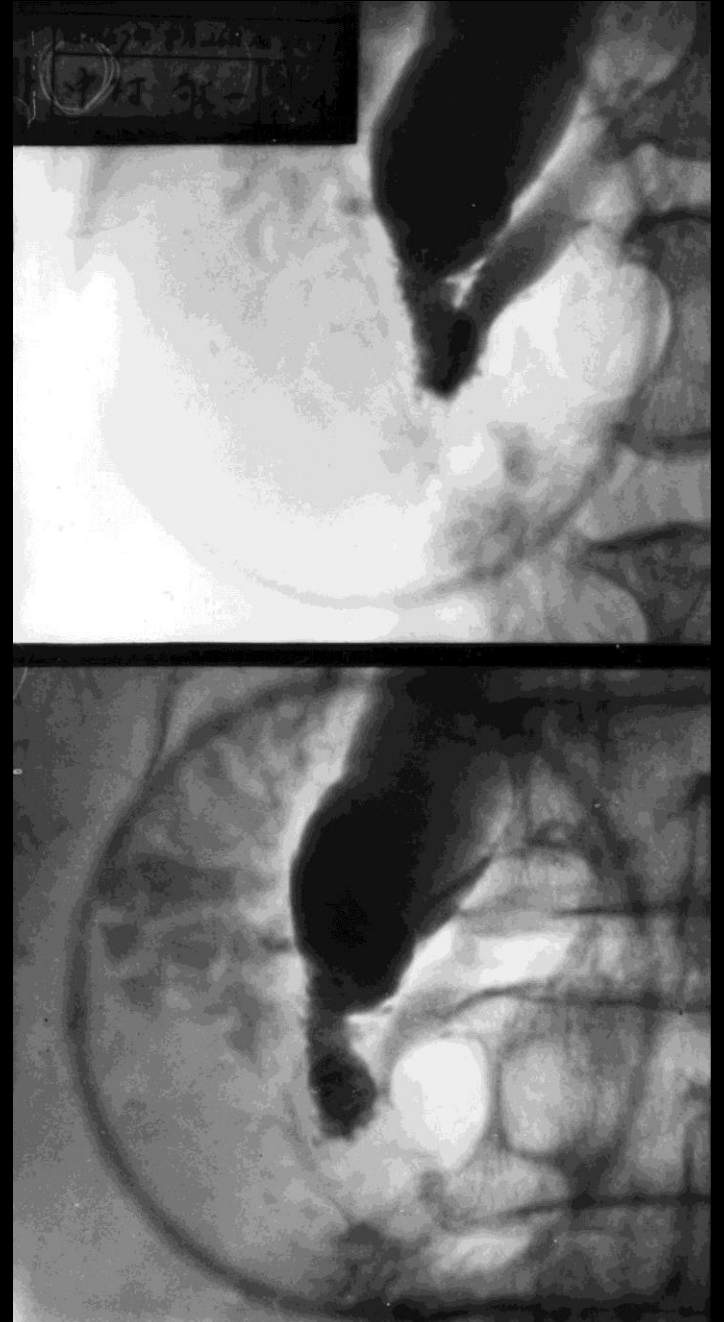
仰臥位压迫像



仰臥位正面像



立位压迫像



第13回胆道疾患研究会

世話人 斎藤洋一、昭和52年8月 仙台

経皮経肝胆道生検と経皮経肝胆道鏡検査

4. 経皮経肝胆道生検と経皮経肝胆道鏡

名古屋大学 第一外科

二村雄次 服部龍夫

名古屋大学 第二内科

中沢三郎

はじめに

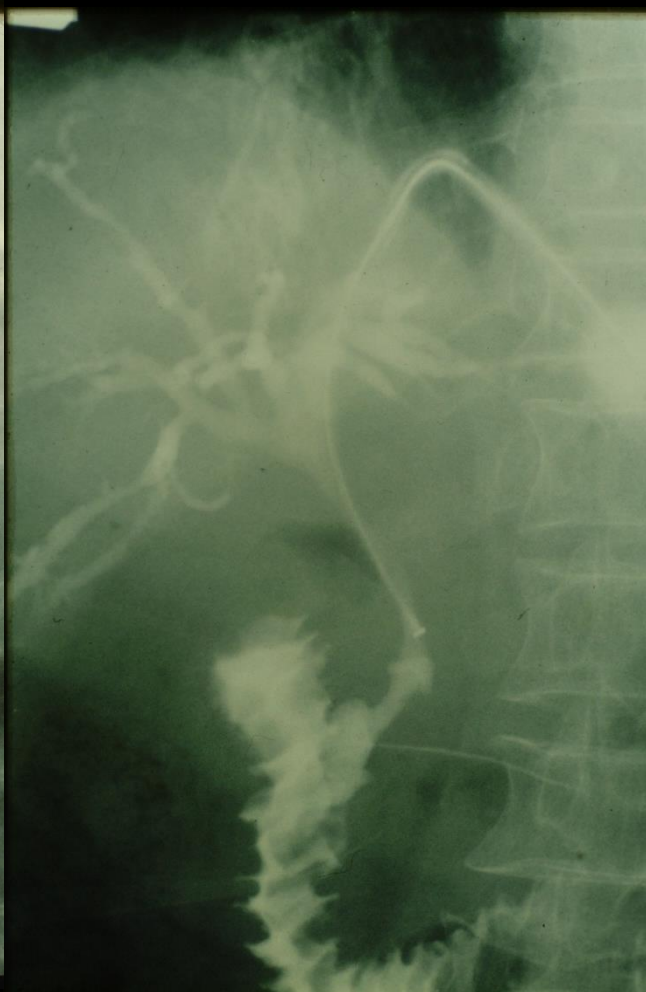
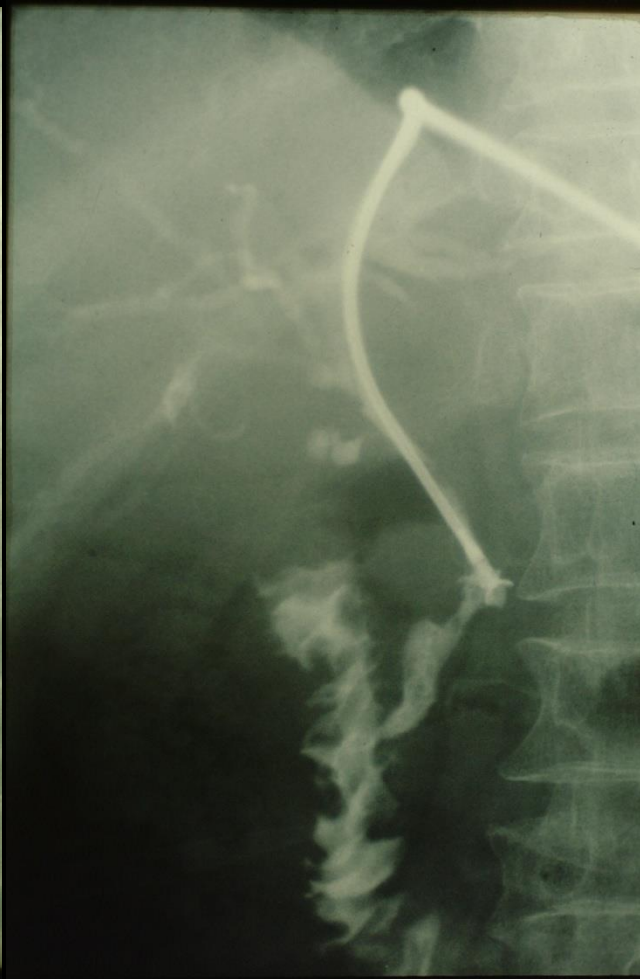
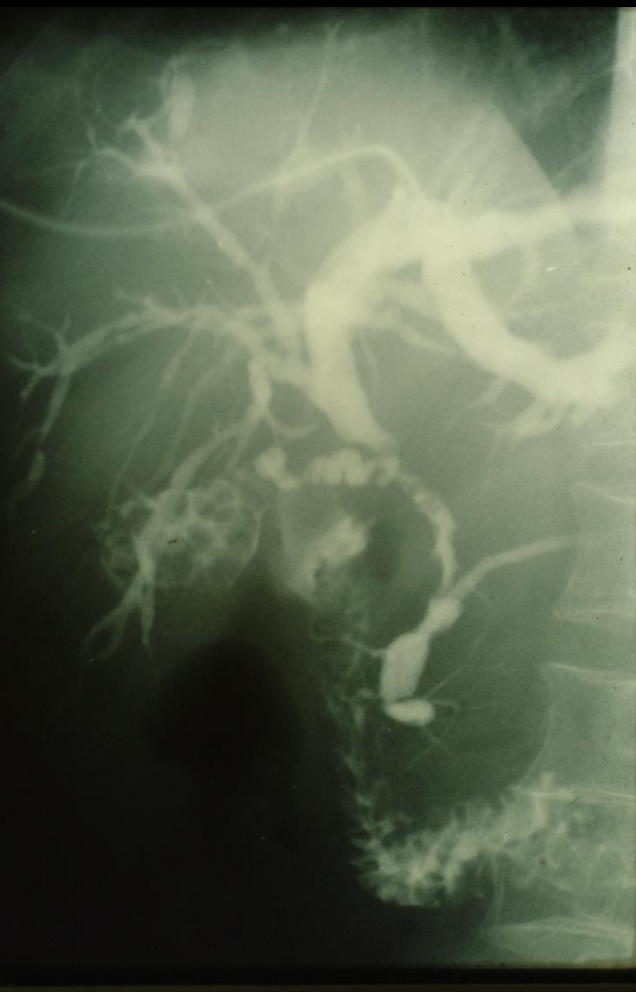
最近の膵・胆道系疾患の診断技術の進歩は著しいものがあるが、悪性疾患では根治手術が可能な時期に適確に診断を下すという段階には至っていないというのが現状である。また、高度な診断方法を駆使しながら、なお良・悪性の鑑別に難渋する症例に遭遇することがしばしばである。

胆道精査法

佐藤寿雄 監修

斎藤洋一 編集

医学図書出版株式会社



胆道学会の流れ

回数	開催時期	総会名称	開催地	当番世話人・学会長
1回	1965. 11	胆のう造影研究会	千葉	窪田博吉
3回	67. 8	胆嚢造影研究会	京都	三好秋馬
4回	68. 8	胆道造影研究会	仙台	佐藤寿雄・三浦清美
5回	69. 8	胆道疾患研究会	福岡	永光慎吾
18回	1982. 8	日本胆道疾患研究会	東京	菅田文夫
23回	1987. 8	日本胆道学会 * 学会誌「胆道」創刊	弘前	小野慶一
29回	1993. 9	日本胆道学会	神戸	高田忠敬(DDWと共催)
32回	1996. 4		神戸	大井 至
有山 襄 理事長就任				
37回	2001. 10	日本胆道学会	東京	二川俊二(単独開催)
38回	2002. 9	日本胆道学会	名古屋	堀口 祐爾
理事長改選 有山 襄 → 二村雄次				
44回	2008. 9	日本胆道学会	名古屋	乾 和郎
理事長選 二村雄次 → 近藤 哲				
46回	2010. 9	日本胆道学会	広島	田妻 進
理事長改選 近藤 哲 → 乾 和郎				
47回	2011. 9	日本胆道学会	宮崎	千々岩一男

第 18 回

日本胆道疾患研究会プログラム

日 時：昭和57年8月27日（金） 8：55 ～ 17：35

主題Ⅰ：総胆管結石症をめぐる諸問題

(A) 成 因

主題Ⅱ：経口胆石溶解療法の現状と将来

主題Ⅲ：Mirizzi症候群(クライテリアの問題を含めて)

特別講演【Ⅰ】

矢内原 昇教授「脳・腸管ペプチド, その生合成と生理的意義」

昭和57年8月28日（土） 9：00 ～ 16：50

主題Ⅰ：総胆管結石症をめぐる諸問題

(B) 診 断

(C) 治療とくにEPT(EST)を中心として

特別講演【Ⅱ】【Ⅲ】

鈴木 範 美教授「胆汁色素系胆石の成因について」

木谷 健 一博士「胆汁分泌に関する最近の話題」

会 場：経団連会館

東京都千代田区大手町1-9-4 TEL 03-279-1411

日本胆道疾患研究会専用電話(期間中) TEL 03-242-6950

当番世話人：菅 田 文 夫

昭和大学藤が丘病院 消化器内科

〒227 横浜市緑区藤が丘1-30

TEL (045)971-1151 (内線 552)

演題番号 83

1. 演 題 胆道側からのEPTの意義

2. 研究者名 二村雄次・鈴木雄彦・早川直和・松本隆利・豊田澄男・犬飼偉経・松田真佐男・宮田完志・安井健三・中神一人・長谷川洋・神谷順一・前田正司・弥政洋太郎

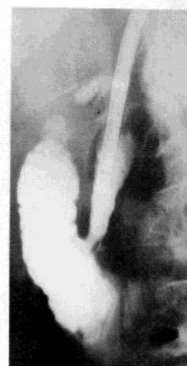
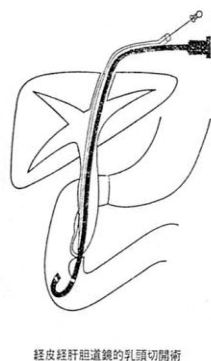
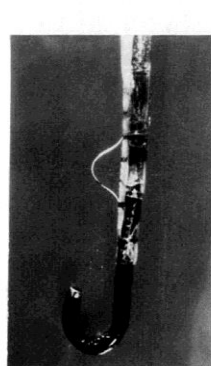
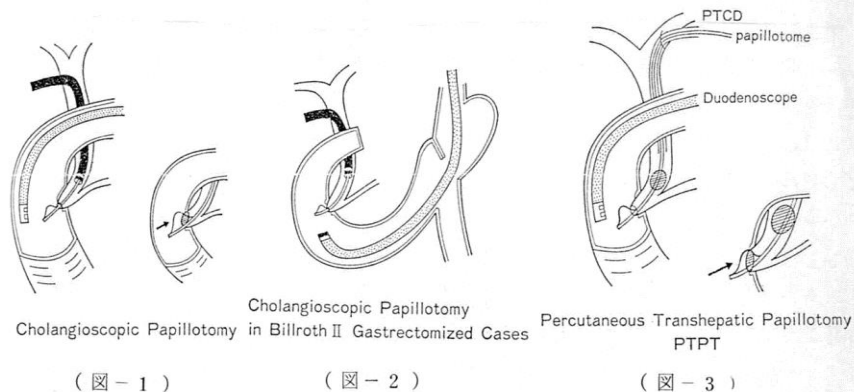
3. 所 属 名古屋大学医学部第1外科

4. 研究総括 1977年4月から1981年12月までに167例のべ206回のEPTを行った。167例中胆道側からEPTを行ったのは37例であり、その中でも胆道鏡的乳頭切開術(CPT), 経皮経肝的乳頭切開術(PTPT)は代表的である。胆管炎を合併したり、巨大結石である場合には、まずPTCDを行って全身状態の改善した時期にPTPTを行うか、あるいは経皮経肝胆道鏡的截石術(PTCS)を行う方が安全である。PTCSで截石後に乳頭部の病態を観察し、CPTの適応について検討した方が合理的である。

内視鏡的乳頭切開術 (EPT) (表-1) 胆道側からのEPT (表-2)

1977・4 - 1981・12 名大1外		1977・4 - 1981・2 名大1外	
遺残胆管結石症		術中胆道鏡的乳頭切開術	1例
肝内および総胆管結石症	9例	胆道鏡的乳頭切開術	16例
総胆管結石症	53例	新型胆道鏡的乳頭切開術	2例
Poor riskの胆管結石症		経皮経肝的乳頭切開術	9例
胆嚢総胆管結石症	47例	経皮経肝胆道鏡的乳頭切開術	3例
総胆管結石症	30例	Tチューブ瘻孔からのEPT	3例
良性乳頭部狭窄	18例	胆嚢管からのEPT	3例
胆道内回虫迷入症	2例		
その他	8例		
計	167例		37例

(文献) 二村雄次ほか：遺残結石の対策－内視鏡的乳頭切開術の手技とその応用－日消外誌, 15:570-575, 1982.



胆道学会の流れ

回数	開催時期	総会名称	開催地	当番世話人・学会長
1回	1965. 11	胆のう造影研究会	千葉	窪田博吉
3回	67. 8	胆嚢造影研究会	京都	三好秋馬
4回	68. 8	胆道造影研究会	仙台	佐藤寿雄・三浦清美
5回	69. 8	胆道疾患研究会	福岡	永光慎吾
18回	1982. 8	日本胆道疾患研究会	東京	菅田文夫
23回	1987. 8	日本胆道学会 *学会誌「胆道」創刊	弘前	小野慶一
29回	1993. 9	日本胆道学会	神戸	高田忠敬(DDWと共催)
32回	1996. 4		神戸	大井 至
		有山 襄 理事長就任		
37回	2001. 10	日本胆道学会	東京	二川俊二(単独開催)
38回	2002. 9	日本胆道学会	名古屋	堀口 祐爾
		理事長改選 有山 襄 → 二村雄次		
44回	2008. 9	日本胆道学会	名古屋	乾 和郎
		理事長選 二村雄次 → 近藤 哲		
46回	2010. 9	日本胆道学会	広島	田妻 進
		理事長改選 近藤 哲 → 乾 和郎		
47回	2011. 9	日本胆道学会	宮崎	千々岩一男

第29回日本胆道学会

会長 高田忠敬、平成5年9月 神戸 (DDWと共催)

鼎談 : 肝門部胆管癌治療の今昔

(水本龍二教授 司会)

千葉大学

宮崎 勝先生

名古屋大学

二村雄次

慶應大学

都築俊治教授

胆道学会の流れ

回数	開催時期	総会名称	開催地	当番世話人・学会長
1回	1965. 11	胆のう造影研究会	千葉	窪田博吉
3回	67. 8	胆嚢造影研究会	京都	三好秋馬
4回	68. 8	胆道造影研究会	仙台	佐藤寿雄・三浦清美
5回	69. 8	胆道疾患研究会	福岡	永光慎吾
18回	1982. 8	日本胆道疾患研究会	東京	菅田文夫
23回	1987. 8	日本胆道学会 *学会誌「胆道」創刊	弘前	小野慶一
29回	1993. 9	日本胆道学会	神戸	高田忠敬(DDWと共催)
32回	1996. 4		神戸	大井 至
		有山 襄 理事長就任		
37回	2001. 10	日本胆道学会	東京	二川俊二(単独開催)
38回	2002. 9	日本胆道学会	名古屋	堀口 祐爾
		理事長改選	有山 襄 →	二村雄次
44回	2008. 9	日本胆道学会	名古屋	乾 和郎
		理事長選	二村雄次 →	近藤 哲
46回	2010. 9	日本胆道学会	広島	田妻 進
		理事長改選	近藤 哲 →	乾 和郎
47回	2011. 9	日本胆道学会	宮崎	千々岩一男

日本胆道学会誌の大改革 (乾編集委員長)

平成3年8月15日学術刊行物認可第505号 ISSN 0914-0077

胆道 第20巻第5号
平成18年12月27日発行

2006 Vol.20 No.5

JOURNAL OF JAPAN BILIARY ASSOCIATION

胆道

〈主要目次〉

〔原 著〕
胆嚢消化管瘻に対する腹腔鏡下手術症例の検討……………坂本 英至, ほか

〔教育セミナー〕
〔ERCPの指導と教育〕
序 ―特集「ERCPの指導と教育」によせて―……………藤田 直孝
ERCP関連手技の指導と教育……………糸井 隆夫, ほか
ERCP関連手技の指導……………小林 剛, ほか
胆道内視鏡医の教育と現況……………田中 聖人, ほか
ERCPにおける胆管 deep cannulation の教育……………玉田 喜一, ほか

〔症例報告〕
総肝管十二指腸吻合術後の遺残胆管断端神経腫の1例……………猪瀬 悟史, ほか
幽門腺化生上皮からなる過形成性ポリープを伴った早期胆嚢癌の1例……………小島 英吾, ほか

日本胆道学会機関誌

胆道
J. J. B. A.

胆道 第22巻第1号 平成20年3月31日発行 平成3年8月15日学術刊行物許可第505号 ISSN 0914-0077

胆道

JOURNAL OF JAPAN BILIARY ASSOCIATION

日本胆道学会機関誌

Vol. 22
1
2008

第43回日本胆道学会学術集会記録
〔会長講演〕胆管上皮癌の分子生物学的検討……………田尻 孝

原 著
化学療法による胆嚢癌の成績向上の試み：A Pilot Study……………調 憲, ほか
非切除肝門部胆嚢癌に対する胆道ステント留置の検討……………向井 強, ほか
胆道疾患におけるMRCP撮影の工夫
―テヒドロコロール酸投与による描出能向上について―……………酒井 裕司, ほか
進行胆嚢癌に対するゲムシタビン全身化学療法と
温熱・化学・放射線療法（三者併用療法）の治療成績の比較……………江川 直人, ほか
粘液産生胆管腫瘍の臨床病理学および診断学的検討……………浦田 孝広, ほか
腹腔鏡下胆嚢摘出術後の吐き気・嘔吐に対する術前デキサメサゾン投与の効果
―無作為二重盲検比較試験―……………深見 保之, ほか

総 説
胆道癌化学療法の実状と今後の展望……………古瀬 純司

症例報告
右胃大網動脈を用いた冠状動脈バイパス術後症例に対する
腹腔鏡下胆嚢摘出術3例の検討……………田畑 智丈, ほか
著明な胆管拡張を呈した下部胆管原発粘液癌の1例……………高良 大介, ほか
終口胆道鏡で胆管内毛細血管拡張病変からの出血を観察し得た
Rendu-Osler-Weber病の1例……………松元 淳, ほか

画像解説
ss胆嚢癌の1例……………須山 正文, ほか

JBA 日本胆道学会

胆道
J.J.B.A.

胆道学会の流れ

回数	開催時期	総会名称	開催地	当番世話人・学会長
1回	1965. 11	胆のう造影研究会	千葉	窪田博吉
3回	67. 8	胆嚢造影研究会	京都	三好秋馬
4回	68. 8	胆道造影研究会	仙台	佐藤寿雄・三浦清美
5回	69. 8	胆道疾患研究会	福岡	永光慎吾
18回	1982. 8	日本胆道疾患研究会	東京	菅田文夫
23回	1987. 8	日本胆道学会 * 学会誌「胆道」創刊	弘前	小野慶一
29回	1993. 9	日本胆道学会	神戸	高田忠敬(DDWと共催)
32回	1996. 4		神戸	大井 至
有山 襄 理事長就任				
37回	2001. 10	日本胆道学会	東京	二川俊二(単独開催)
38回	2002. 9	日本胆道学会	名古屋	堀口 祐爾
理事長改選 有山 襄 → 二村雄次				
44回	2008. 9	日本胆道学会	名古屋	乾 和郎
理事長選 二村雄次 → 近藤 哲				
46回	2010. 9	日本胆道学会	広島	田妻 進
理事長改選 近藤 哲 → 乾 和郎				
47回	2011. 9	日本胆道学会	宮崎	千々岩一男

2008年9月19日 名古屋
日本胆道学会理事会
近藤哲新理事長誕生



日本胆道学会理事長就任にあたって

胆道 2008;22:485-487

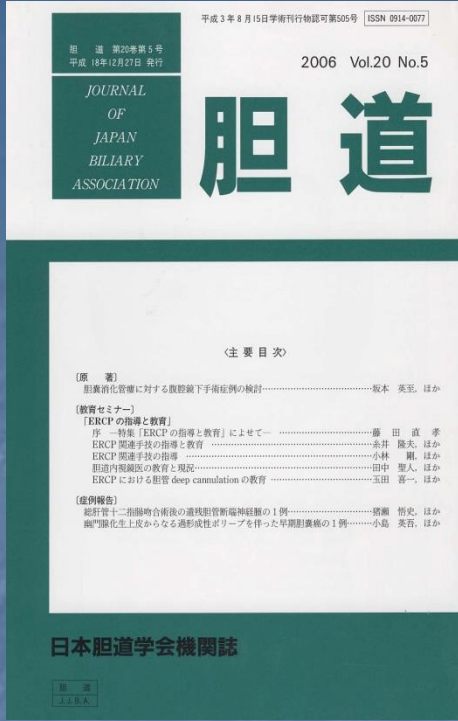
北海道大学大学院医学研究科
外科学講座腫瘍外科学分野（医学部第2外科）
近藤 哲



44年の伝統を誇る日本胆道学会は「胆道学」に関するプロ中のプロ、俊才、豪傑が全国津々浦々から集まる専門家集団である。その領域は外科，内科，放射線科，Oncology，病理等胆道研究全般にわたり，各領域の「胆道大好きプロ」が集まってより専門的な「おたく談義」を繰り広げることができるのが本学会の持ち味と考えている。

「面白いかも？」と遠巻きにながめている若者たちに手招きして、「本当に面白いんだよ」と手を取り足を取り懇切丁寧に胆道の魅力を教え込む。そんな姿勢が今の若者には必要とされる。若者が自由にどんどん積極的に意見を述べられるような雰囲気作りに努めたい。

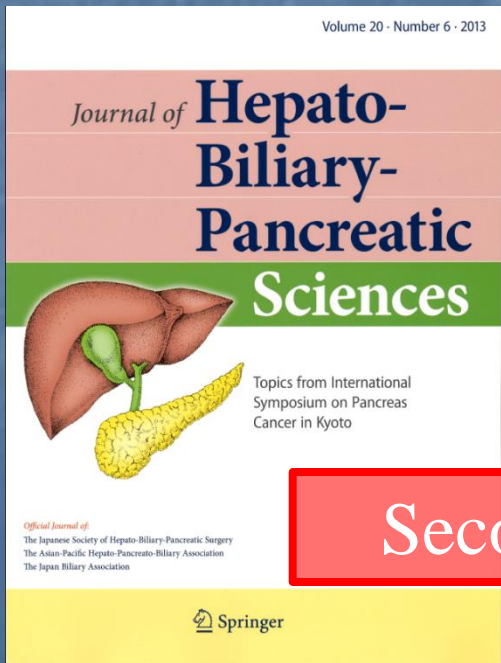
1. 各領域から胆道のプロが集まって、より専門的な論議を深めるといふ本学会の持ち味を継続する。
2. 若者、初心者にも参入しやすい雰囲気・環境を創出する。
3. 真に豊富な知識や円熟した技能を保有する胆道医を、学会が認定して患者サイドに情報提供し、社会貢献する。 認定指導医制度の導入
4. 日本のレベルの高い臨床・研究の成果を世界に発信して交流を深め、国際貢献する。
5. 本学会の組織力を活かした学会主導の研究を実施してエビデンスを発信し、学間的に貢献する。



乾編集委員長



近藤理事長



Secondary publication



胆道学会の流れ

回数	開催時期	総会名称	開催地	当番世話人・学会長
1回	1965. 11	胆のう造影研究会	千葉	窪田博吉
3回	67. 8	胆嚢造影研究会	京都	三好秋馬
4回	68. 8	胆道造影研究会	仙台	佐藤寿雄・三浦清美
5回	69. 8	胆道疾患研究会	福岡	永光慎吾
18回	1982. 8	日本胆道疾患研究会	東京	菅田文夫
23回	1987. 8	日本胆道学会 * 学会誌「胆道」創刊	弘前	小野慶一
29回	1993. 9	日本胆道学会	神戸	高田忠敬(DDWと共催)
32回	1996. 4		神戸	大井 至
有山 襄 理事長就任				
37回	2001. 10	日本胆道学会	東京	二川俊二(単独開催)
38回	2002. 9	日本胆道学会	名古屋	堀口 祐爾
理事長改選 有山 襄 → 二村雄次				
44回	2008. 9	日本胆道学会	名古屋	乾 和郎
理事長選 二村雄次 → 近藤 哲				
46回	2010. 9	日本胆道学会	広島	田妻 進
理事長改選 近藤 哲 → 乾 和郎				
47回	2011. 9	日本胆道学会	宮崎	千々岩一男

胆道学会の流れ

回数	開催時期	総会名称	開催地	当番世話人・学会長
1回	1965. 11	胆のう造影研究会	千葉	窪田博吉
3回	67. 8	胆嚢造影研究会	京都	三好秋馬
4回	68. 8	胆道造影研究会	仙台	佐藤寿雄・三浦清美
5回	69. 8	胆道疾患研究会	福岡	永光慎吾
18回	1982. 8	日本胆道疾患研究会	東京	菅田文夫
23回	1987. 8	日本胆道学会 * 学会誌「胆道」創刊	弘前	小野慶一
29回	1993. 9	日本胆道学会	神戸	高田忠敬(DDWと共催)
32回	1996. 4		神戸	大井 至
有山 襄 理事長就任				
37回	2001. 10	日本胆道学会	東京	二川俊二(単独開催)
38回	2002. 9	日本胆道学会	名古屋	堀口 祐爾
理事長改選 有山 襄 → 二村雄次				
44回	2008. 9	日本胆道学会	名古屋	乾 和郎
理事長選 二村雄次 → 近藤 哲				
46回	2010. 9	日本胆道学会	広島	田妻 進
理事長改選 近藤 哲 → 乾 和郎				
47回	2011. 9	日本胆道学会	宮崎	千々岩一男

胆道

JOURNAL OF

日本胆道学会機関誌

Vol. 25

3
2011JAPAN
BILIARY
ASSOCIATION

第47回 日本胆道学会学術集会

プログラム, 抄録



日本胆道学会

胆道
J.J.B.A.

会長挨拶

会長 千々岩 一 男

2011年3月11日の東日本大震災,それに引き続く大津波と福島原子力発電所の損壊事故により被災された会員の皆様ならびに関係各位に心よりお見舞い申し上げますとともに,一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

この度,第47回日本胆道学会学術集会を宮崎大学腫瘍機能制御外科学(外科学第一講座)でお世話させていただくことになり,大変光栄に存じます。期日は,2011年9月16日(金)と17日(土)の2日間で,会場は宮崎市のワールドコンベンションセンターサミットを予定しております。本学会が宮崎で行われるのは,教室の初代教授香月武人先生が1989年に開催されて以来ですので,22年ぶりになります。

私が外科医になった1975年(昭和50年)当時は,胆道疾患の診断と治療は転換期を迎えていたと思います。X線透視台上で超音波も使わずに経皮経肝胆管造影・ドレナージ(PTBD)が行われ,ERCP,EST,経皮経肝胆道ファイバー(PTCS)などが先達の努力により臨床導入され始めた時期に相当します。また,ENBD,ERBD,POCSなども開発され,超音波で肝内胆管を安全に穿刺できるようになりました。先輩の先生方の努力により胆道学の進歩はめざましく,EUS,IDUS,EUS-FNAをはじめとした内視鏡診断やMD-CT,MRI(MRCP)など画像診断が加わり,現在は病態が詳細に診断できるようになっています。この35年間を振り返りますと,まさに胆道疾患の診療は諸先輩の創意工夫により,暗黒の時代から輝かしい時代へ変遷してまいっております。これらの歴史から,私は今回の学術集会のメインテーマを「創意工夫:From the Gloomy to the Glorious Age」とさせていただきます。胆道疾患(胆石,胆道炎,胆道癌)の診断・治療には,内視鏡的処置の発展で様々なことが可能になってきましたし,腹腔鏡手術も導入されました。また,外科医にとって肝切除から脾頭十二指腸切除,さらには血管合併切除再建が要求されるのが胆道癌ですが,これらの技術も安定してきました。しかし,今でも胆道癌の予後は不良ですし,急性胆管炎も対処を誤ると致死的です。種々の内科的・外科的治療も格段に進歩し高度になってきたため,国民の皆様に分かりやすいように今年から日本胆道学会認定指導医制度が開始されます。誰が胆道を専門としているのか分かるようになり,今後益々胆道学が発展していくものと思います。

ところで,宮崎県は,東国原前知事が色々なところで宣伝してくれたお陰もあり有名な県の1つになってまいりました。宮崎は天孫降臨の地といわれ,最も神様に近い神話と歴史があります。高千穂神社,天岩戸神社,宮崎神宮,海に面しては海幸彦・山幸彦の青島・瀬戸神宮などがあり,西都原古墳群もあります。学会を開催させていただく9月の宮崎は,海山の自然がきれいな季節です。ウィンドサーフィンに最適な浜辺,芋を洗って食べる猿がいる幸島,夜神楽と神社で有名な高千穂,温泉や山歩きが楽しめる霧島やえびの高原,都井岬,飫肥城,綾には照葉樹林などの観光スポットがあります。会場の横にはフェニックスカントリークラブとトムワトソンゴルフコースもあり,他にも近くで便利な所にゴルフ場が沢山あります。昨年(2010年)春に騒がせた口蹄疫も夏には終結しました。宮崎牛,地鶏,マンゴーなどを含め,肉と果物野菜に関しては豊富で美味しい食材もございます。

先生方におかれましては是非大勢で宮崎において頂き,学会で親睦を深め,宮崎の自然と食を満喫し,日頃の疲れを癒していただければ幸いです。教室員一同,多くの演題のご応募と多数の先生方のご参加を心よりお待ちしております。

第47回日本胆道学会学術集会

2011年9月16、17日 宮崎市

メモリアル講演

「近藤 哲前理事長の遺志を語る」

愛知県がんセンター

二 村 雄 次



An Obituary for Prof. Satoshi Kondo, a Council Member of the IHPBA

by the Past President of the IHPBA
Yuji Nimura, M.D.

(l-r) Tompkins, Kamiya, Nimura, Kondo.
We visited Dr. RK Tompkins at Santa
Monica, California on the way back from
Boston, participating the 1st World
Congress of IHPBA in June 1994.



Prof. Satoshi Kondo unexpectedly passed away due to lung cancer on January 17, 2011. A health screening test showed a left lung tumor with pleural invasion at the beginning of September 2010. Aspiration cytology of the pleural effusion revealed adenocarcinoma. He underwent R0 resection: left extrapleural pneumonectomy on September 17 in his Department of Surgical Oncology, Hokkaido University Hospital. Although he recovered from the extensive surgery without any complication, histological examination of the resected specimen revealed pleomorphic carcinoma, rare and the worst carcinoma. And very early recurrent tumors were found in the locoregional surgical area, liver and bones. Multidisciplinary treatments did not prolong his life and he died in the 4th postoperative month.

胆道系国際学会の流れ ①

1978

International Biliary Association
(I B A)

1986

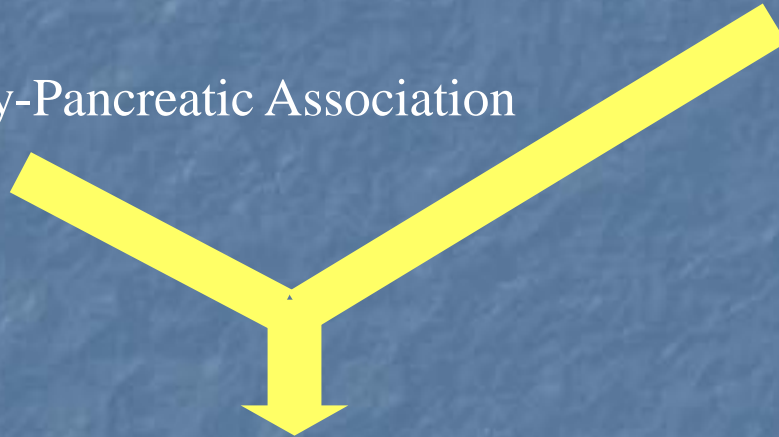
World Association of Hepato-Pancreato-Biliary Surgery
(W A H P B S)

1988

International Hepato-Biliary-Pancreatic Association
(I H B P A)

1994

International Hepato-Pancreato-Biliary Association
(I H P B A)



胆道系国際学会の流れ ー②

1991

Asian Society of Hepatobiliary and Pancreatic Surgery (ASHBPS)

1994

American Hepato-Pancreato-Biliary Association (AHPBA)

1995

European Hepato-Pancreato-Biliary Association (EHPBA)

2004

Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association (A-PHPBA)

第44回日本胆道学会学術集会

2008年9月19-20日 名古屋

理事長講演

胆道学会のこれからの進むべき道

二 村 雄 次

愛知県がんセンター

進むべき道

日本胆道学会は

- ・ おたく族の集まり
- ・ 高い専門性
- ・ 国際的にも高レベル

 **更なる国際化!!**